



さ SA く KU ら RA



Oct..2015

発行/ボーイスカウト世田谷第5団広報部

7月29～8月8日

第23回

世界スカウトジャンボリー  
@ 山口市きらら浜



## BS隊

BS隊 トナカイ班

ジャンボリー生活は朝シャワーから始まった。時差のせいか外国人スカウトは、朝もゆっくり寝ていて、朝シャワーは、いえば日本人のたまり場だった。外人だらけのサイトで、方言混じりの日本人としゃべるのは、とても落ち着ける時間となった。朝シャワーを終えると、プログラムに出た。帰ってくると、ジャンボリーならではのgoods交換会が始まる。これは、外国人スカウトとの交流を広げる自由時間で、メインといってもおかしくない。そのため、多くのプログラムは午前中で終わる仕組みとなっていた。そのユルい自由時間は、プログラム終了から夕食作りにかかる5時ごろまでたっぷりあって、僕は交換もそこそこに、ここでもシャワーにいそしんだ。服の洗濯、午前中に流した汗を落とした。

開催中、とにかく暑かった。僕が感じた中では、朝が一番蒸し暑く、不快だった。たぶん朝露が水蒸気化する時間帯なのだろうと、都会生活では感じない自然の営みを体感した。

ということで、暑さと戦うジャンボリーは、暇を見つけては冷水シャワー、ということになった。

そんなこんなで自分はバッチのほかにも、日本派遣隊公式リュックをブラジル人カスタマイズドと交換したり、日本連盟の制服の上着をドイツ人と交換したりした。積極的な外国人スカウトにおされると断れない日本人気質は、ここで成功を生んだのか行き過ぎたのか悩んだこともあった。しかしよい思い出になったと思う。母と妹が、ドイツの制服を着て楽しんでた。

BS隊 カモメ班

7月27日から8月8日までの2週間、山口県のきらら浜で第23回世界スカウトジャンボリーに参加してきました。第23回世界スカウトジャンボリーの参加者は152の国や地域から集まった約34000人もスカウトでした。そのほとんどが外国スカウトで、英語があまり話せなくてとても大変でした。しかし、外国のスカウトもイージーイングリッシュで話してくれたりして、僕も単語をつなげてなんとか通じました。やはり英語はもっと勉強するべきだったと思います。

また、ジャンボリーで一番印象に残ったのは、アリーナショーです。アリーナショーには安倍晋三首相、皇太子様、しょこたんなどが出演していて、外国スカウトも日本スカウトも大盛り上がりでとても楽しかったです。

今度の日本ジャンボは出来ればスカウトとして行って、第24回世界ジャンボにはISTとしていきたいです。これほどいい経験をさせてくれた両親にはとても感謝しています。

BS隊 カモメ班

僕は今回のWSJに参加して、世界には色々な人がいて、色々な文化や考え方の違いがあるんだなと改めて思いました。

やはり同じ国の人達で固まる事が多かったですが、バッチなどの交換などは積極的にしました。「this one to this one」「Change please」などの短い文や身振り手振りで全て通じました。言葉は通じなくても心は通うことを実感しました。今回のWSJは奇跡的に一度も雨が降らず、とても気持ちよく活動できました。とても良い経験になり感謝しています。



## BS隊 オットセイ班

自分はこの夏、日本での開催は約60年ぶりとなる、23WS Jに日本派遣団として参加してきました。まず、会場に入って真っ先に目に留まったのは今まで見たこともないような様々な国の国旗でした。そして、この様々な国旗を見たときに最初に感じたことは様々な国の人々とうまくやっていけるのだろうかという不安な気持ちと、大会の規模を実感し浮足立つ気持ちでした。しかし、そんなことを感じていられたのは束の間で気づいたらいろんな意味でとても「あつ」く、楽しかった13日間は終わっていました。今回の23WS Jでの自分の収穫は世界のスカウト達と触れ合うことによって「スカウトは友情にあつい」ということを実感できたことではないかと思えます。また、どこかで世界のスカウトと会える機会があったら是非、もう一度会いたいです。

# WORLD SCOUT JAMBOREE in Yamaguchi 'Kirarahama'

## ベンチャー隊

### ベンチャー隊

私は世界ジャンボリーに参加して思った事は一緒にいる仲間の大切さです。なぜかと言うとジャンボリーは一人では絶対に乗り越えられないからです。だから私は仲間は必要不可欠な存在だとこの世界ジャンボリーで実感しました。又、アリーナショーでは世界の国旗を見てこれだけの国がこの山口県きらら浜に集まっていると思うと、とても驚きました。

アクティビティでは色々な事を学びましたが、特にピースプログラムが印象に残りました。日本は世界で初めて原爆が投下された国です。私は日本はもう二度と戦争をしてはいけないと思いました。原爆は恐ろしい兵器だと思いました。

そして、次に印象に残ったプログラムはウォーターです。きらら浜を使ったスポーツをしたり海に入ったり、とても楽しかったです。外国のスカウトとはワッペン、ネッチ、ネッチリングを交換しました。

12日間、色々な体験をしてとても楽しかったです。又、この経験は人生にとっても役に立つと思います。12日間、有り難うございました。

### ベンチャー隊

僕にとって今回のジャンボリーは、初めての長期キャンプでただでさえ緊張していたのに、それに加えて世界中から優秀なスカウトが集まってくるので、自分のような平凡なスカウトが参加しても大丈夫だろうかという心配や、そんな平凡な僕が次長としてやっていけるだろうかという心配、つたない英語で上手くコミュニケーションが取れるだろうかという心配もあり、行く前から少し怖かった。しかし周りには頼れる班長・次長達や、5団の普段の仲間、ジャンボリーで新たに知り合った仲間がいて、とてもリラックスして13日間のキャンプを過ごすことができた。

英語のコミュニケーションは周りの外国人の人達に比べて劣っていたように思えたが、僕が間違ってしまった時も相手は真剣に僕の言っていることを理解しようとしてくれて、臆することなく話すことができた。このことから、相手に伝えよう・相手の言うことを理解しようという強い意志を持って話すことが重要なだとわかった。

とにかく今回のジャンボリーは楽しかったの一言に尽き、行かせてくれた団関係者の皆様や家族にはお礼を言っても言い切れない程だが、心残りがあるとすれば日本でジャンボリーを開催することができるという数少ないこの機会を自分で作るができなかったことが少し悲しく、運営の人達を羨ましく思った。次回のジャンボリーは年齢的に参加することはできないが、ISTなどのスカウトのサポート側として参加してみたいと思う。

最後に伝えたいのは、ジャンボリーは楽しい。だが只単に楽しいだけでなく、未来の自分を作っていく上で重要なパーツになり得る体験なので、将来行けるチャンスがあるスカウトは是非行けるように頑張りたいと思います。



# ホストファミリー体験談

中澤 美樹 (カブ隊保護者)

日本で開催される世界ジャンボリー。まだ参加年齢に達していない息子ですが、その雰囲気を感じたい！！と一言で今回イギリス隊のホームステイ受け入れをさせていただきました。

当初は2名、また我が家はリーダー(23、29歳)受け入れが決まっていたので、個別の部屋を用意した方がよいのだろうか？など不安なことはたくさんありましたが、どうにか受け入れ当日を迎えることができました。息子たちと一緒に作ったウェルカムボードを手に、「どんな人達がくるのだろうか？」とドキドキと緊張で待っていましたが、そこには日に焼けて頬を赤くし、にこやかなスカウト達が手を振りながら近づく姿を見て、不安が一気に吹っ飛んだことを覚えています。

我が家に来たイギリス隊2名はさすがリーダー！！と関心の連続ばかりでした。身支度から食事のマナー、気配りまでもイギリス紳士を間近で感じられたこと、息子たちにはとても良い経験だったと思います。息子たちは一緒にマリオブラザーズをしたことが一気に距離が近くなり、良い思い出だったようです。

今回のイギリス隊との交流はボーイスカウトが繋げてくれた素晴らしい出会いであり、私たちは今後も彼らと交流を続けたいと思える有意義な機会でした。これも世界中にあるボーイスカウト活動の醍醐味であり、素晴らしさだと親子共々感じました。離れた海外にも自分達のようにボーイスカウトスピリットのもと活動を行っている人々がこんなにもいるんだ、そして、言葉が違って同じ歌や掛け声で心がひとつになれるんだ。そんなことを間近で教えてもらえる機会を与えてくださった事、そして息子達の人生に豊かな経験をさせてくださったことに感謝いたします。

小針 恭子 (ボーイ隊保護者)

8/8~10にかけて我が家は2人の英国隊スカウト、16歳のエマとジェイドを受け入れました。2人ともしっかりしていて落ち着いた女の子で、ジャンボリー後の疲れも見せず、本当に手のかからない女子高生でした。8日はゆっくり夕食をとり、ジャンボリーの話を楽しみました。暑くてテントの中で眠れず、外で寝て蚊にさされたこと。朝食担当の日は朝4:30起きで食材を取りに行ったこと。大勢の他国スカウトと記念品を交換したこと。広島原爆ドームを見たことなど。

9日は原宿でキデイランドやラフォーレなどでショッピングし、お土産などを買いました。夕方から世田谷連盟主催のレセプションがあり、チェコ隊とも合流して大盛り上がりでした。翌朝は東京駅に送って別れました。

今回募集に手を挙げたのは、ジャンボリーに参加できない息子に少しでも参加の意識を持たせるためと、英語の勉強の必要性を肌で感じてほしいと思ったからです。その効果はまだわかりませんが、私達家族全員がとても有意義な体験をすることができました。

最後に一つ、英国でのスカウト活動について尋ねたとき、日本はボーイとガールに別れて活動していると説明したら、エマ達に「同じスカウト活動するのになんで別々にやるの？」と怪訝そうな顔をされました。スカウト発祥の地では男女別れて活動するのはもう時代遅れの様です。



日笠 邦彦 (ボーイ隊副長、保護者)

私の家でお預かりしたのは英国から来た14歳の男子2人でした。

WSJ参加前に東京の観光も何箇所か済ませたということだったので、息子(14歳)とその友達も連れて、プール(東京サマーランド)に行きまして。天気にも恵まれ、思いっきり遊んできました。プールということもあり、言葉が多少不自由しようとも関係なく、4人ではしゃいでいました。限られた時間ではありましたが、純粋に「楽しむ」という意味では、正しい選択だったかなと思います。

夜も4人で1つの部屋に寝かせてやりました。詳しくは分かりませんが、カードゲームをやったり、YouTubeを見たりと、年齢に合った楽しみ方をしていたようです。

2泊3日と大変短い期間ではありましたが、慌しくも濃密な時間を過ごせてもらったかな、と思っています。我が家家族にとっても有意義な時間を過ごすことができました。

# ビーバー隊

## 9月13日 隊集会 工作 シーターポン 空き缶戦車

ビーバー隊  
隊長 保科潔

9月13日(日) ビーバー隊は、奥沢区民センターにてシーターポンと空き缶戦車を作りました。朝の会、佐藤 彬(あきら)君1年生の 入隊式をしました。おめでとう ビーバー。1年生5名 2年生7名 合計12名になりました。花保団委員長もご出席頂きました。シーターポンは、1年生と今まで作っていなかったスカウトが作りました。空き缶戦車は、2年生と既にシーターポンを作ってしまった1年生が作りました。空き缶戦車は、ゴム動力で走ります、ゴムを2本にすると良く走ります。また空き缶の大きさ、形によって走りが変わります、色々クフウすると、面白いです。ビーバースカウトはデザインに力を入れました。これからも楽しい工作を皆で考えようね！

■■■■ (あきら)君1年生の  
入隊式をしました。  
おめでとう ビーバー！



# カブ隊

## 9月6日 てくたくハイク

プログラム担当副長 保科哲也

9月6日組集会 第3回てくたくハイクが曇り空の下行われました。スクープです、3組が3時終了の5分前に帰ってきました。スカウトが全部まわりましたと声を上げています。3組は歩く距離が長い、9キロ 石標ポイントが多い為に私は完歩が難しいと思っていました。3組のスカウトが力を合わせて石標を見つけ拓本を取り、踏破できました。何事も最後まで力を尽くすことが大切ですね！今回は達成ポイントと拓本ポイント完歩が目標の為拓本ポイントが多い3組が優勝です。第3回までの合計ポイントでは、1位 1組127ポイント 2位 2組 4組122ポイント 3位 3組110ポイントでした。詳しくはカブ隊ホームページをご覧ください。3組が終わりの式をして30分もたたないうちに雨が降り出しました。

てくたくの季節変わって  
うるこ雲

### 3組 くま

今日は等々力コース3回目でした。

3組は1番まわるところが多くて3時ギリギリですごく足が疲れたけど 優勝できてうれしかったです。もっと早く完歩したかったです。

### 4組 くま

てくたくハイクは、とっても楽しかったです。その理由は、いろんなところに行きながら、地図を見たからです。あと、でんりーダからそのところの歴史の問題をでたりは、ちょっとむずかしかったが楽しかったです。



# 9月13日 ミニハイク@多摩丘陵

プログラム担当副長 青木由美

9月13日。3つの里山公園を歩く多摩丘陵ハイクを行った。

スタートの小山内裏公園は、京王相模原線 多摩境駅の北側、町田市と八王子市にまたがる尾根筋に広がる、4つのサンクチュアリを含む豊かな自然を残した里山公園である。展望広場からは11月に登る丹沢山系・大山を望むことが出来た。続く2つの公園もアップダウンのある雑木林の中を歩くコースとなっている。

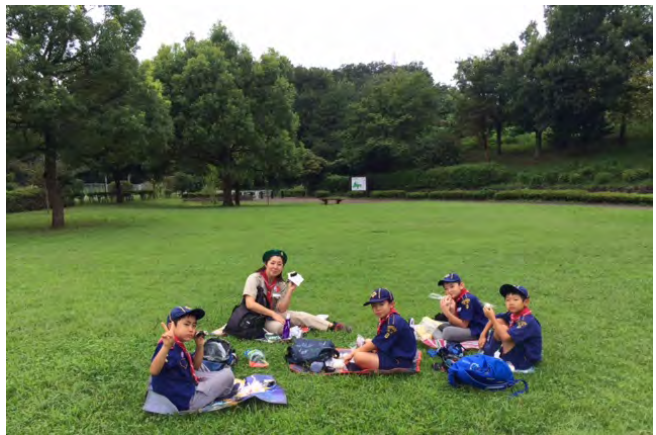
雨も心配されるような天気であり、また9.2kmは長かったけれど、公園と里山の良いところを味わえるハイクとなった。

私には初めてのハイク企画で反省するところも多々あったが、隊長をはじめとするリーダーの皆様のバックアップ、そして子供たちの頑張りのおかげで楽しいハイクになりました。ありがとうございました。

## 3組DL 猪岡 崇

今回の多摩丘陵でのハイクより初めてDLとして活動に参加させて頂きました。

当日は朝から生憎の曇り模様となりましたが 解散場所に戻るまで雨も降らずに快適に初秋のハイクを楽しむことができました。広大な丘陵の中にあるコースで全体的にアップダウンが多く 途中でサンクチュアリーと呼ばれる自然豊かな雑木林などもあったりし 恥かしながら普段運動不足気味の私にはキツイ箇所も多々ありましたがスカウトさん達の気力や体力に驚かされ励まされながら初めての活動を終えることが出来ました。今回は初めてのDL経験で全工程でスカウトさん達の安全にすべての意識がいてしまいました。そんな中でも同じ組のスカウトさん達と一緒にコース途中で落ちていた沢山のどんぐりやイガから飛び出した山栗を拾ったりと一足早い秋を満喫し良い思い出ができたと思います。またコース途中の展望広場からは11月の活動で行く大山などの山頂部分をうっすらと確認することができ その高さや風景に私自身も含め皆で興奮しておりました。これからの活動もとても楽しみです！



## 1組 うさぎ

ハイクがとても楽しかったです。ハイクで一番楽しかったのは、林の中であるいたりカエルを見つかったりクローバを見つかったりするのがとても楽しかったです。

## 2組 くま

今回行ったところはジブリ映画「平成狸合戦ぽんぽこ」の所に近かったため、本当にそんなところがあったなんてビックリしました。公園の中を歩いた時に「狸がこんな所にいたのか。」と思いました。また、今度行ってみたいです。



## 会議報告

- 育成会役員会 9月14日(月) 自由が丘口ベックスジュース 10:00～
- 団会議・団委員会 9月17日(木) 奥沢地区会館第3会議室 20:00～
  - 育成会より
    - ☆ 9月6日、中間会計監査を行いました
    - ☆ 尾山台フェスティバルにブース参加することになりました
  - 団委員長より
    - ☆ 新ユニフォームの徽章類について
    - ☆ 55周年地区キャンポリー  
2016/8/21～23～25(メインイベント8/22)、川場村  
団としてではなく、個人参加になります
    - ☆ 秋季BS講習会 10月25日 参加申込締切:10月4日



## 会議予定

- 10月6日(火) 育成会役員会 尾山台地区会館小和室 10:00～12:00
- 10月15日(木) 団会議・団委員会 奥沢地区会館第2会議室 20:00～



## 育成会より

10月17、18日の尾山台フェスティバルに世田谷5団としてブースを設けることになりました。お祭りに来ている子供達に「ロープワーク」を体験してもらい、5団のボーイスカウト活動を知ってもらおうブースを作ります。主にボーイ隊が対応しますが、スカウトだけでは人員不足ですので、育成会の皆さんにも是非ともお手伝いをお願いいたします。

内容は主にロープワークの説明と、景品渡し(ロープワークは保護者でもできるもの)  
また、ブースから出張してのハッピーロードの交通整理があります。(昼間はボーイ隊、夜のみ保護者が担当)

カブ隊は舎営中で参加できませんが、都合上舎営に参加出来なかったカブスカウト、またビーバースカウトは、保護者同伴で参加ください。また保護者だけでも、ご参加ください。下の小さいお子さんもお一緒にブースで遊んでいただけます。

スカウトには保護者の監督のもとで制服着用での参加を希望します。

下記のようなシフトを組んでいますので、お手伝い可能な時間帯をご連絡ください。

17日(土曜日)

- ① 12:00～13:30
- ② 13:30～15:30
- ③ 15:30～17:30
- ④ 17:30～19:00

18日(日曜日)

- ⑤ 12:00～13:30
- ⑥ 13:30～15:30
- ⑦ 15:30～17:30
- ⑧ 17:30～19:00

是非ともご協力をお願いいたします。